

富士見市公民館運営審議会議事録

開催日時	平成27年11月25日(水) 午後7時00分～9時00分
会場	水谷公民館 講座室
出席者	世羅陽一郎 瀬戸 篤 山川亜紀子 田中聰行 秋元富美子 吉川英亨 中 正美 高橋康子 是永国彦 山本百合子 川端正則 平井光夫 本田和子 尾形忠男 (以上14人) 鶴瀬公民館長(南畑公民館長兼務) 水谷公民館長 水谷東公民館長 鶴瀬公民館事務局担当 (合計18人)
欠席者	関根健一 浅見孝志
会議次第	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり
会議録確認	世羅陽一郎 委員
公開・非公開	公開(傍聴人0人)
会議内容	
<p>※傍聴希望者がいないことを確認。 議長あいさつ。 鶴瀬公民館長あいさつ。</p> <p>1、 報告事項</p> <p>(1) 平成28年度予算要求状況について</p> <p>○鶴瀬公民館長より、「事業別予算要求書」に沿って説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月から実施計画など様々な計画を立案し、それらに基づいて予算要求している。主な要求としては、次のようなものがある。 ・一般事務や施設維持管理事業関係では、公用車、テント、展示パネルなど。 ・学級講座開催事業は、これまでどおり。 ・公民館だより発行事業は4館まとめて予算要求しているが、現状の発行回数を増加させる要求をしていく。 ・市民大学開設事業は、従来通り。 ・子どもフェスティバル開催事業は、ステージ設営委託分を増額して要求していく。 ・平和憲法啓発事業及び障害者の学習機会充実事業は、今年度とほぼ同額で要求していく。 <p>○南畑公民館長より、「事業別予算要求書」に沿って説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設維持管理事業関係では、テーブルと卓球台の買い替えを要求した。 ・他に特徴的なものとしては、樹木の選定を要求した。 ・学級講座開催事業は、従来通り。 <p>○水谷公民館長より、「事業別予算要求書」に沿って説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務では、来年車検があるので若干増額で要求した。 ・施設維持管理事業では、内装の修繕費用と調理室のオープンレンジを要求した。 ・学級講座開催事業は、従来通り。 <p>○水谷東公民館長より、「事業別予算要求書」に沿って説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務では、来年車検があるので若干増額で要求した。また、コピー機をリ 	

- ・ ース期間が切れることから、新たな契約分として要求した。
- ・ 施設維持管理事業では、給排水管等の設計委託を要求した。
- ・ 学級講座開催事業は、従来通り。

[質疑・意見等]

委員：各館の耐震工事は終わっているのか。

鶴瀬公民館長：終わっている。建物は安全になっている。

議長：樹木剪定の委託先は、どのようなところを予定しているか。

鶴瀬公民館長：民間の造園会社に委託している。

(2) 各地区公運審会議について(最寄りの会議を各地区公運審地域議長から報告)

議長：鶴瀬公民館は9月9日(水)に実施し、次の3点について協議を行った。

- ・ 公共施設予約システムの導入に関して
- ・ 公民館事業報告兼事業評価のフォーマットの件に関して
- ・ 27年度後半の事業の件に関して

委員：南畑公民館は、12月12日(土)に予定している。

委員：水谷公民館は、来週予定している。

委員：水谷東公民館は、来月予定している。

なお事業に関連して特に報告しておきたいのは、今年の「川の探検会」では参加者が多かった点。

[質疑・意見等]

委員：水谷東公民館の「川の探検会」に参加者が多かった理由は何か。

委員：ホームページが功を奏し、楽しさを期待して来た方がいたり、他市からの参加者などもいたため。

議長：水質調査をしたとのことだが、結果はどうだったか。

委員：昨年と変わらなかった。

(3) その他

○鶴瀬公民館長より

- ・ 鶴瀬公民館では9月24日(木)から11月30日(月)まで給排水管の更生工事を行う関係で、利用者が他館に流れてご迷惑をおかけした。12月1日(火)からは再開できる。工事は順調に行っている。
- ・ トイレ改修は予定していなかったが、ここで併せて古い洋式便座を暖房・温水洗浄便座に替えた。少しは快適に利用していただけたと思う。

○南畑公民館長より

- ・ 南畑公民館は空調の工事を休館なしで実施している。工期1月22日までを予定しているが、2月中旬頃まで延長となりそうである。

2、協議事項

(1) 公民館全市事業の取り組みについて（意見交換）

鶴瀬公民館長より報告。

○子どもフェスティバル

今年は雨天中止だったが、今また来年に向けて準備が始まった。平成28年4月24日（日）に予定し、会場は「文化の杜公園周辺」で行うことは今年と同じ。ステージを充実させ、子どもの力を発揮できる中身を検討していきたい。主催団体のうち子ども会育成会連合会が活動を休止したため、市PTA連合会と放課後児童クラブ中心でやっていかないといけない。

○地域自治シンポジウム

例年2月か3月で実施してきた。従来の実行委員会での運営が困難になったり、事務事業評価の中で見直し案も出た経過がある。現在、見直しをして準備を始めている。地域づくりをテーマとするが、今年は子ども関連の団体などから「子どもの育ちと地域」に焦点を当てた発表を予定している。また、基調講演は、弘前大学の深作先生を予定している。実施は、2月28日（日）を予定している。

○ピースフェスティバル

今年度は戦争体験などの語り継ぎを意識した取り組みを行い、広島の伝承者の語り部の方（都内在住の40代の男性）にも来ていただいた。

今年度の残った事業は、「平和学習会」。非核平和都市宣言の理念を広める取り組みを意識し、被爆者の方の体験談とパネル展示を計画。実施は、3月13日（日）を予定している。

[質疑・意見等]

委員：地域自治シンポジウムの基調講演に弘前大学の先生を選んだ基準は。

鶴瀬公民館長：「子どもが遊びを通して育つ」という視点で研究をされていることから。

議長：ピースフェスティバルの準備段階で鶴瀬公民館以外は関わっていないが、大事な取り組みなので、他の3館はバックアップをしてほしい。

(2) 公共施設予約システムについて

鶴瀬公民館長：本日付の検討内容の資料をお配りした（最新の内容で）。

システムは、来年の4月からスタートを予定している。施設の空き状況確認と仮予約ができ、利用者の利便性を図ることが目的。

一方、今までの利用者が不便にならないようにも対応していく。基本、今まで通りの一斉受付の方式は当面並行して行う。ネット上の公開は、一斉受付日の次の日からを予定。自動抽選機能はシステムの特徴だが、システムの使い勝手を検証した上で、目標を持った上で取り入れていく予定。なお、職員不在の時間帯でもサービス低下にならぬように努力していきたい。

また2月か3月頃に、利用者の方にはもう少し詳しい説明会を実施していきたい。

水谷公民館長：水谷公民館では7月の利用者懇談会で説明をしたが、このときは心配の声が出た。9月に2回目を行い、この時には今までと大きく変えない方向でシステムを導入することを説明したところ、心配の声は7月程は出なかった。若い人、新たな利用者を増やすためにも、システムは必要。いい方向で定着

させていきたい。

水谷東公民館長：水谷東公民館でも、2回説明会を行った。9月には、本日の内容とほぼ同じ内容で説明している。機械が苦手な利用者へのフォローはあるかとの質問に、きちんと対応すると回答したところ了解されていた。地域の催しへの対応についても質問されたが、今後検討していく予定であるとお答えした。

[質疑・意見等]

委員：交流センターなども同じシステムで始めるのか。

鶴瀬公民館長：同じシステムだが、運用の仕方が違う形で始まる。キラリふじみも同様にシステムが同じでも運用が違う。

委員：自動抽選の導入時期を明らかにしてほしい。

鶴瀬公民館長：あくまで利用者の利便性等を中心にしていきたいが、公民館の考えとしては、ふじみ野交流センターの先行している状況を見て（同センターは、スタート時より自動抽選を採用予定）、29年度中には導入したいと考えている。

委員：南畑ふれあいプラザはどうなのか。また、普段使う施設しか予約できないのか。

南畑公民館長：南畑公民館と同じとしていく。「市内目的内利用」であれば、他の施設ももちろん予約できる。

委員：どうしても予定している日を取りたい時、自動抽選だと（話し合いでないと）使えない可能性も出てくるが、そこはどうなのか。また、時期的に催し物が集中する時期はどうなのか。なお、ふじみ野交流センターが抽選でも人が集中するのはなぜか。

鶴瀬公民館長：抽選の仕方は、検討していきたい。集中する時期は他の公民館に移っていただくこともあると思うが、抽選機能の使い方ややり方は課題となってくる。ふじみ野交流センターは公民館の様な歴史はなく、様々な団体が利用を希望しているため。

(3) 委員からの提案の件について

鶴瀬公民館長：各館の正副議長さんとの話し合いをした中で出たご意見を基に、本日の案（事業報告兼事業評価票）を作成した。具体的には、作成資料に沿って説明。

[質疑・意見等]

委員：総合評価の表現を、ABC評価にしたらいいと思う。例えば、表の右上にA：継続、B：見直し、C：廃止のように。

委員：何をどこに書くかより、AかBかCかの方が大切だと思う。

委員：票右上の「目標の数値化」とは。

鶴瀬公民館長：参加人数の目標を300人などと記入する欄。

水谷公民館長：事業に参加しないとわからないようなことが、評価項目を工夫したことで、以前よりは委員さん達にも書きやすいものになっていると思う。

議長：現実的には館長が全ての事業を見られないので、担当者が書いている面もあるようだが。また、「C」評価となった事業の扱いはどうするのか。

水谷公民館長：「C」とならないとやめられない事業もあるので、それはそれで大事な評価。

(3) その他

議長：教育委員会には生涯学習関係の5つの審議会がある。毎年1月に合同で研修会と交流会を実施している。公運審からの参加率は50パーセント。参加率が低いとやる意味がないとの声も一部が出ているが、皆さんどう思うか。今すぐ結論は出ないが、参加したことのない公運審の委員さんは、是非来年は参加してみしてほしい。

また、鶴瀬公民館長の兼任の件は、鶴瀬公民館の利用者連合会から教育委員会に申し入れをしたとの報告を受けている。

議長：特に他になければ、以上を持って閉会とする。

次回の開催は、平成28年2月24日(水)、水谷東公民館にて行う。